

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/09/04号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

改めて年初来高値を更新

NY原油先物相場は、1バレル=85ドル台中盤まで値上がりし、昨年11月16日以来の高値を更新した。需給ひっ迫見通しが強く、押し目買い優勢の展開になっている。8月中旬は中国経済の減速懸念、米金利上昇・ドル高で調整売りが膨らんでいた。しかし改めて買いが膨らみ、80ドルに続いて85ドルの節目も上抜く展開になった。米原油在庫の減少が続いていること、サウジアラビアとロシアが自主的に実施している供給削減策が10月まで延長されるとの見方もポジティブ材料視された。

需給ひっ迫見通しが強い。世界的に在庫の減少傾向が報告されているが、米国でも原油在庫は2週連続で今年最低を更新している。季節的な需要拡大が進む一方、石油輸出国機構（OPEC）プラスの生産調整が行われていることが、国際原油需給のひっ迫見通しを強化している。コモディティ市場全体で中国経済の減速懸念を織り込む動きが一服していること、米長期金利上昇・ドル高が一服していることも、原油相場を押し上げた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月25日時点）は、原油が前週比1,058万バレル減、ガソリンが21万バレル減、石油精製品が124万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫で堅調地合が続く、サウジとロシアの動向に注目

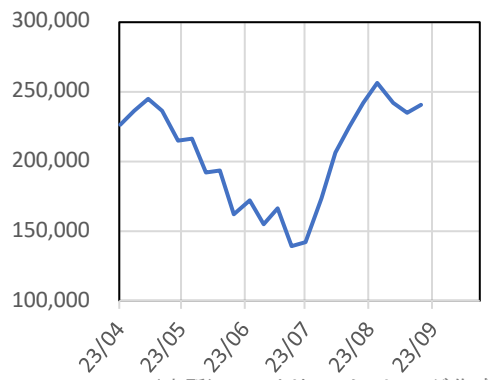
需給ひっ迫見通しが維持される中、押し目買い優勢の展開が維持されよう。前週は80ドルに続いて85ドルの節目を上抜いたことで、90ドルに迫る展開が想定される。特にサウジアラビアとロシアが10月まで供給削減を延長する方針を示す、米原油在庫の取り崩しが更に進むといった動きがみられると、買い安心感が強まろう。

サウジアラビアは7月から日量100万バレルの自主減産を実施している。また、ロシアは8月に日量50万バレル、9月に30万バレルの輸出削減をおこなっている。こうした動きが国際原油需給のひっ迫化を後押ししているが、今週は10月まで供給削減策を延長する方針が示される可能性が高いとみられている。原油高進行で延長見送りとなった場合には失望売りで急落するリスクもあるが、このまま供給削減が続けば原油需給ひっ迫化に対する信頼感は維持・強化されよう。

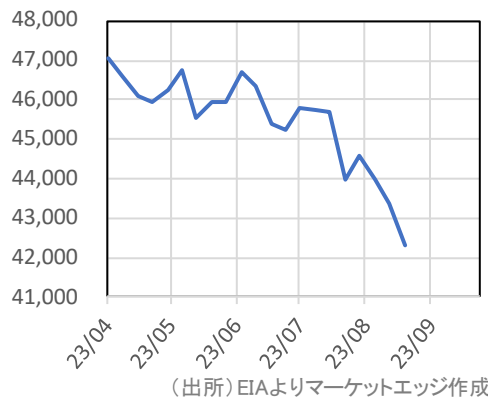
中国経済の減速懸念は根強いが、足元ではその織り込みに一服感がみられる。非鉄金属相場も下げ一服となっている。中国政府の景気対策期待もあり、中国発のコモディティ安には一服感が目立つ。中国経済のリスクそのものが解消された訳ではないが、原油相場の下落リスクは後退している。

今週は大きなイベントは予定されていないだけに、9月7日に発表される米エネルギー情報局（EIA）の週間需給統計に注目したい。原油在庫は前週に1,058万バレルの急減となっていたが、その反動増になるのか、更に在庫の取り崩しが進むのかは重要である。また、ハリケーンシーズンに突入しているため、メキシコ湾の気象環境にも注目したい。

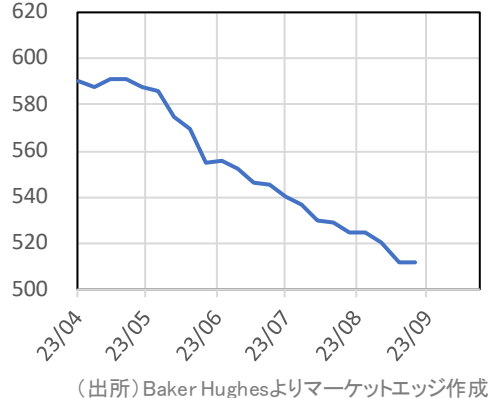
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

